

サトキン かわら版 vol.6

発行者
株式会社サトキン
群馬県高崎市
吉井町塩309-8
TEL: 027-320-3655
FAX: 027-320-3656

☆春がやってまいりました☆

皆様、さくらの花も散ってきましたが、どうお過ごしですか？
すっかり暖かくなり朝夜の温度差に体調など崩されていませんか？
サトキンでは4月の決算に向け社員皆一丸となって頑張っております。
新規顧客、新規案件等、積極的に取り組んでおります。
6月には機械要素技術展に出展いたします。
ご来場お持ちしております。
さてさてサトキンかわら版もご好評につきVOL.6を迎えました。
読んで下さりありがとうございます。
サトキンの取り組みや新着情報など知って頂けると
嬉しい限りでございます。



現在社内レイアウト変更検討中です。
効率の上がるレイアウトにすべく
皆で知恵を出し合っております。

H26.3.28(水)の21中間審査終わりました。
今後もCO2削減に積極的に取り組んでまいります。

サトキン

大塚康幸社長

一貫生産目指す

320・3655
(高崎市、027・
.....

加工 「おまかせあれ！」 砂型鑄造

鋼合金、アルミニウム合金の砂型鑄造が自慢だ。多くの鑄造技術がある中で、有機自硬性鑄型を採用し、精密から大型までさまざまな鑄造に対応している。



0から1を創り出し、から2へと進化すると大塚社長が確立している。穴加工工程を不要としたため、低コストを可能にした。図面をも

小物の精密鑄物は粒度の細かい砂型と独自の鑄造技術により、薄肉1・25mm級の複雑形状の鑄造を可能にした。鑄肌の精度が高

見間違えられるほどの鑄造技術に定評がある。新技術開発では、砂型に入れたアルミパイプを溶かすと同素材で融着させて一体鑄造する「鑄込み」技術を

顧客に合わせた鑄造技術を提案してニーズに応えている。基型から試加工、熱処理までの一貫生産体制の構築を目指している。



大塚社長が暴走？！
この写真は2月の大雪の時の写真です。大塚社長が暴走している訳ではありません。会社内の積もった雪を大塚社長が慣らしてくれています。会社が雪で休みだったのですが大塚社長が出てきて慣らしてくれました。ここの非常事態の時に周りの事を考えて社員が出勤できるように道を確保してくれました。またこの大雪で会社のカーポートが壊れてしまいました。自然災害は仕方ないことですが周囲の災害に比べればたいしたことなかったのが幸いです。

新聞に掲載しました。
3/20 日刊工業新聞にて弊社が紹介されました。